

校長のつぶやきⅡ

校長室便り 第27号

令和2年8月31日 山内

○野球部の活動 –地元の方の声が新聞掲載 今夏県4強相手に互角の試合–

8月28日(金)朝、出勤したならば、野球が好きで私と毎日、楽天の話しをする大場事務室長先生が、河北新報朝刊「声の交差点」の記事を届けてくれました。「見ての方がいるんですね。励みになりますね。」以下はその投稿記事の抜粋です。(遠沢 洋 様)

–大崎市にある岩出山高の野球部員が朝、ビニール袋を手に通学路のゴミ拾いをしている。皆にこにこして歩いて散歩をしている私だけでなく、地域住民を明るい気持ちにさせてくれる。ゴミ拾いは野球部の伝統として何年も前から実施しているという。教師らも道路に立って活動を見守っているときもある。新型コロナウイルス感染拡大が報道され暗い気持ちになりがちだが、生徒達の姿はとてもさわやかだ。

野球部に触発されたらしく、ビニール袋を持ってゴミを拾いながら朝の散歩をする地域住民の姿も見られるようになった。おかげでこの地区に落ちているゴミは少ない。しかし、地区を通過すると車から捨てられたと見られるマスクや空き缶、たばこの吸い殻などが落ちていることがある。残念なことだ。「旅の恥はかき捨て」という言葉があるが、誰も見ていないとしても自分自身が見ている。自分に恥じない行動を取ってほしいと思う。–

29日(土)野球部の秋の新人戦が始まりました。今年は地区リーグなし、負ければ終わりの県大会トーナメント方式です。場所は仙台市民球場。岩高野球部は岩ヶ崎、中新田、迫桜と4校連合チームで今夏県4強の仙台一高相手に4点を先制。終盤に逆転されるも4対6の互角の試合を繰り広げました。雷雨による試合開始が遅れるなどの悪条件の中、最後まで集中力を切らさないすばらしい試合でした。

今日の朝、岩淵監督と野球部員が報告と応援のお礼に校長室に来てくれました。素晴らしい野球の試合のことはもちろん、遠沢さんの新聞記事のこと、もう大会はなくなったけれども、及川・松浦先輩が2人で冬を越えたのだから3人で最後の冬を越えるようにと話しをしました。これから運動部の新人大会が本格化すると思いますが、大事なのは結果ではなくこれまでの取り組む姿勢です。9月5日には岩高オープンスクールがありますが、岩高運動部の頑張りを中学生にPRしたいと思います。

○体育祭仕切り直し

–28日(金) 気温34℃湿度95% 31日(月) 降雨グラウンドC不良–

28日(金)から順延された今日の体育祭ですが、開会式とダンス部の演技が終わった頃、降雨が激しくなり、グラウンドコンディション不良で、3日(木)に再度延期します。コロナ禍でただでさえ全校での活動が制限されていますの、なんとか3日(木)は実施したいと思えます。ではこれで今回のつぶやきはこれでお終いです。気がつけば明日から9月です。